

【書の文化の伝承】第2回大仏書道大会 書くことは楽しい in 奈良 報告

書道展は 全国の高校生、および大学生を対象に「大仏さんに東日本大震災を祈願する」、「大仏さんに日本再生を祈願する」、「奈良の思い出」、「仏典から題材を得たもの」を課題に作品を募集しました。日本全国から、東日本再生に思う気持ちを伝える言葉など、総数1201点の応募をいただき、その中から100点を入選とし、11月26日、27日の二日間、東大寺大仏殿西回廊において展示をいたしました。



書道展

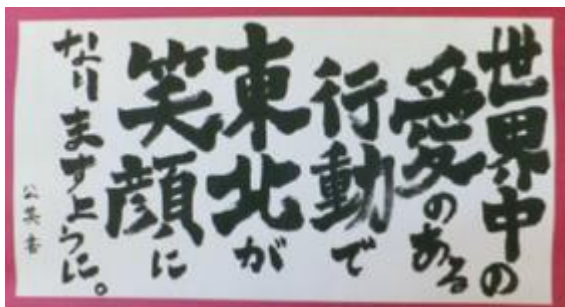
内7点の特別賞を紹介いたします。



奈良県知事賞 <想う>

奈良女子大学

小暮恵里子さん



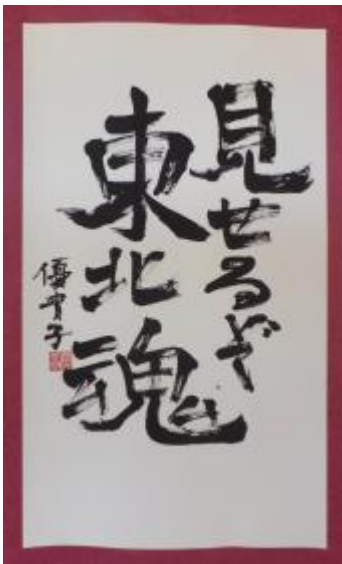
奈良市長賞 <笑顔>

奈良市立一条高等学校

木村公美さん



東大寺賞人唯心
東大寺学園高等学校
河内友佑さん



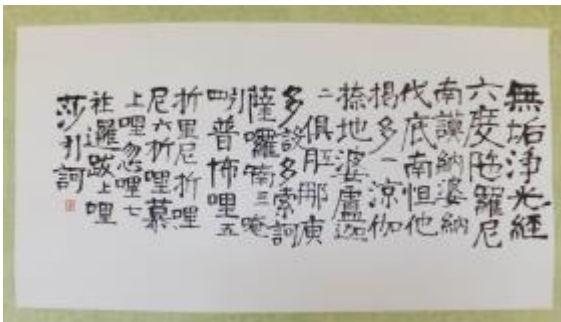
奈良県教育長賞人力強く
山形県立酒田西高等学校
村上優貴子さん



奈良市教育長賞 <佛心>
島根県立益田高等学校
岡崎由樹さん



朝日新聞社賞「絆」
 札幌市立山の手養護学校
 大村昂生さん



奈良21世紀フォーラム
 理事賞 <百万塔陀羅尼>
 新潟県立新潟江南高等学校
 古川友美さん

席書会は二日目の27日午前中に大仏殿東回廊にて行われました。

近畿地区から35名方が参加され、森本長老の講話のあと、「唯心偈」の写経と自由題による揮毫を行いました。終了後、大仏様の前に登壇、作品の奉納し、書道大会のテーマである東日本大震災からの復興、日本再生を大仏様に祈願しました。



席書会

講演会は午後から新装成った東大寺文化センターの金鐘ホールにて行われました。

講師は奈良国立博物館館長の湯山賢一氏です。



講演会

演題は「書は人なり —古文書と筆跡—」で書を通して現れる人物像について講演をいただきました。

東大寺を建立された聖武天皇の書から読取れるお人柄の紹介から始まり、光明皇后、そして平安、鎌倉、室町各時代に活躍された天皇や武将の古文書を紹介いただきました。

聖武天皇から織田信長の書まで紹介していただき、その筆跡からその人となり、時代の背景等をわかりやすく説明をしていただきました。